

# 次世代育成に関するアンケート調査のまとめ

アンケート実施期間:平成18年10月18日～平成18年10月31日

アンケート配布件数:179件

アンケート回収件数:127件 回収率:71%

## 【「子どもと高齢者のふれあいの場」を開設】

開設している:50件

開設していないor不明:77件 開設率:40%

### < 開設費用 >

個人負担	5
区や町内会で負担	31
補助金	4
その他	3

### < 開設日 >

年に1～2回	16
年に3～4回	14
年に5回以上	3
月に1回	6
週に1回	1
随時	5

### < 開設時間 >

午前	17
午後	6
午前～午後	9
夜	6

未回答項目もあるため、各項目の合計は必ずしも一致しません。

### < 問題点などの主な意見 >

#### ➤ 肯定意見

- ・ 特に問題ない。集会施設の使用は問題ない。場の提供はできる。
- ・ 大変良いこと。実施されると良い。区も協力したい。

#### ➤ 問題提起・課題

- ・ 運営、管理(火の元など)をどうするか。組織作りや管理責任者の位置づけが必要。
- ・ 責任者、指導者、ボランティアをどうするか。人材確保が困難では？
- ・ 熱心で強力なリーダーシップのある人が必要。
- ・ 指導者、世話人の育成をしてほしい。
- ・ 子どもも高齢者も少ない。若しくはいない。
- ・ 子どもは塾等、高齢者も仕事や家事等で忙しい。時間的余裕が無い。時間的なズレが大きい。
- ・ 子どもは少ない自由時間を拘束されるのを嫌うのではないか？
- ・ 高齢者が集まらない。やってくれない。積極的な人が少ない。支援できる元気な高齢者が少ない。
- ・ 親たちは高齢者との交流を要望しているとは思えない。
- ・ 子どもと親のニーズをつかめ。何を期待しているか？
- ・ 高齢者が得意とするものと、子ども達のニーズにズレがないか？
- ・ 高齢者は何をしたらいいか悩むのでは？
- ・ 施設整備や遊具の設置が必要。
- ・ 集会施設、公共施設等の開設する場所が無い。
- ・ 怪我等あった場合、自己責任とすることに決めていても、昨今は補償問題になってくる。

#### ➤ 別の形態を望む意見

- ・ 市が各区を巡回して、その様な場や機会を設けてほしい。
- ・ 人数が少ないため、近隣区と合同でないと単独では困難。
- ・ 子どもが少ないので、小学校や幼稚園単位で開設してはどうか？

# 次世代育成に関するアンケート調査のまとめ

- 検討中
  - ・ 地域行事で、老人と子供のふれあいの機会を取り入れる事を検討中。
  - ・ 子供の行事と高齢者の行事をそれぞれで行っているため、一緒にできることを検討中。
- 開設済み
  - ・ 常に開放している。
  - ・ 夏休み、冬休みには子供達に開放している。

## 【「子育て交流ひろば」を開設】

開設している: 21件

開設していないor不明: 106件

開設率: 17%

### < 開設費用 >

個人負担	3
区や町内会で負担	12
補助金	2
その他	1

### < 開設日 >

年に1~2回	6
年に3~4回	4
年に5回以上	1
月に1回	4
随時	5

### < 開設時間 >

午前	2
午後	2
午前~午後	2
夜	6

未回答項目もあるため、各項目の合計は必ずしも一致しません。

### < 問題点などの主な意見 >

- 肯定意見
  - ・ 特に問題ない。集会施設の使用は問題ない。
  - ・ 大変良いこと。一定の支援も可能。最も進めていきたい地域活動だ。
  - ・ 悪い点はやりながら直せば良い。1ヶ所でも増やすことが先決。
- 問題提起・課題
  - ・ 両親共働きが多く余裕が無い。休日忙しいし、勤務時間にも差があり困難。
  - ・ 責任者、指導者、ボランティアをどうするか。人材確保が困難では？
  - ・ 熱心で強力なリーダーシップのある人が必要。
  - ・ 指導者、世話人の育成をしてほしい。
  - ・ 市から講師の派遣がないとできない。
  - ・ 運営、管理(火の元など)をどうするか。組織作りや管理責任者の位置づけが必要。
  - ・ 時間、使用料、世話役などの明確化。
  - ・ 常時開所するには人が必要だが、ボランティアでは毎日の開所が保証されない。
  - ・ 乳幼児を子育て中の親が少ない。在宅で子育てしている親が少ない。又はいない。
  - ・ 地域との関わりを煩わしいと考える風潮がある。よほど魅力的な内容でないと、集まってくれない。
  - ・ 集会施設、公共施設等の開設する場所が無い。
  - ・ 集会所の施設整備ができれば可能。
  - ・ 父母が何を期待しているのか？無用な負担を強いる懸念がないか？ニーズをつかめ。
  - ・ 地域としてやる必要があるのか疑問。
  - ・ 気軽に利用したい人達がいるが、申込み~支払いまでの方法が面倒なため、利用し易い方法に変更をお願いしたい。

## 次世代育成に関するアンケート調査のまとめ

- 別の形態を望む意見
  - ・ 人口も少ないし、区単位ではなく旧町村全体での取り組みなら良い。
  - ・ 少人数の区では居場所の要望は無く、むしろ子育てに対する相談の方が必要。
  - ・ 指導者のことを考えると、公の施設へ出向き対応することが望ましい。
  - ・ 行政として、子育て相談等の巡回開設と専門職員の育成をしては？
  - ・ 社協で子育て支援教室等を行っており、これを充実した方が効果的。
- 検討中
  - ・ クラブ(集会所)を子育て広場として開放を検討中。
  - ・ 他の区と合同で検討中。
- 開設済み
  - ・ 既に存在している。自主的に親睦会的に集まっている。
  - ・ 希望があればいつでも無料で開放している。
  - ・ 長期休暇中に利用いただけるようクラブを無料開放している。
  - ・ 既に開放しているが、集まる人が少なく成り立たない。強制的に人集めはできず、悩んでいる。
  - ・ 居場所は常に開放しているが、何をしたいかわからない父母が多いので、講座開設には経験豊かなボランティアの協力が必要。

### 【まとめ】

- 場所の提供に関しては、問題無い地区がほとんどであり、区民には常に無料で開放している地区もある。
- 両事業に共通して言えることは、リーダーシップのある人を中心に、きちんと組織作りを行い、ルールを定めた上でないと運営がうまくいかないとの考え方や、指導者の育成を望む声も多い。
- 高齢者も父母も子どもも忙しく、時間的に難しいのではないかとの見方が多い。
- 少子化及び過疎化の進展から、地域によっては対象者が少ない、若しくはいないため、両事業とも開設は困難との見方も多い。
- 1地区だけでは対象者が少ないので、2地区以上でまとまったの開設を望む声もある。
- 集会施設が無い、若しくは施設の老朽化及び設備が不十分なため、実施できない地区もある。
- 対象者のニーズをつかむ必要がある。対象者が望む事業でなければ成功しない。
- 「市が各地域を巡回し、そのような場を設けた方が良い」とか、「指導者のことを考えると、公の施設へ出向き対応することが望ましい。」等の、違う形態の提案もいただいた。
- 現在開設に向けて検討中、あるいは開設済みの地域もいくつかあったので、そういう地域を参考にできると良いのではないか。
- 開設済みの地域でも、うまくいなくて悩んでいるところもある。
- 「子どもと高齢者とのふれあいの場」については、開設済みであっても、常時開設はほとんど無く、年に数回の地域行事の際に“ふれあって”いるところがほとんどである。

以上のことから、場所の提供は問題無いが、新たに事業を立ち上げることに對して困難に感じている方が非常に多いことが分かった。

しかし、子育て中の父母を対象とした別のアンケート調査では、「子育て中の親子の居場所」を求める意見が大変多くあったことや、悪い点はやりながら直せば良いとか、1ヶ所でも増やすことが先決との意見もあることから、人数の多少にかかわらず、やる気のある人がいて「開設できる地域からとりあえずやってみる」ということも必要だし、違う形態も検討する必要があると思われる。